

第101期 株主通信

2015年4月1日 — 2016年3月31日

目次

株主の皆様へ	1
目で見える連結決算ハイライト	3
目で見える連結財務諸表	5
トピックス	7
株主アンケートのご報告	8
会社情報／株式情報	9





株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第101期(2016年3月期)株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶させていただきます。

当期は、国内経済は足踏み状態、海外では中国経済の減速等があり、当社の業績は、売上高7,421億円(前期比2.3%減)、営業利益180億円(同0.7%減)と減収減益となりました。引き続き不安定な事業環境が続くものと予想されますが、当社は、4月より新中期経営計画「ACE-2020」をスタートさせ、変革を実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続き、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役社長 朝倉 研二

新中期経営計画「ACE-2020」をスタートし、 2020年度までに連結売上高1兆円を目指します。

Q 就任して1年が経過しましたが、
この1年の振返りをお願いします。

A 強い一体感を築き上げ、変革に
挑戦することが必要と強く感じました。

就任当時は、前中期経営計画を終えた時期に当たり、掲げていた目標値は大幅な未達となっていました。ただ、単年度では為替影響の追い風もあり前期比増収増益決算が見込まれていたことから、社内には目先の利益計上に甘んじるムードが漂っており、今のままでは今後長期に

わたる持続的な成長が見込めないのではないかと、強い危機感を抱いたことを鮮明に覚えています。

組織風土改革というものは、マネージャー層はじめ、グループの一人ひとりの価値観や行動様式(マインドセット)を変えなければ成功しないというのが私の持論です。現在、NAGASEグループでは海外も含め6,000名以上の人々が働いています。今後、外部環境が大きく変化するなかでグループとしての力を最大限に高めていくためには、強い一体感を築き上げ、変革に向けて果敢に挑戦することが必要であると思っています。

Q 変革の第一歩である新たな中期経営計画についてお聞かせください。

A 「収益構造の変革」と「企業風土の変革」を
実行致します。

当社グループは、2032年に創業200年の節目を迎えます。その2032年までの17年間で3つのStageに分け、2016年度から2020年度までをStage1「変革期」と位置付け、新中期経営計画「ACE-2020」をスタートします。

「ACE-2020」では、「収益構造の変革」と「企業風土の変革」の2つの変革を実行してまいります。

①収益構造の変革

重点施策①-1:「ポートフォリオの最適化」

経営資源の最大効率化を進めるために、成長性、収益性、事業規模を観点に、事業を「育成領域」、「注力領域」、「基盤領域」、「改善領域」の4つの領域に仕分けを行い、各領域にあった戦略実行により、事業拡大を図ります。また、再配分可能な経営資源の確保と積極的な成長投資を行い、資産の入替を加速します。

重点施策①-2:「収益基盤の拡大・強化」

商社業・製造業それぞれが、独自のKPI設定と施策実行により、各機能を向上させるとともに、それぞれの機能を活用した新たな事業の創造を目指します。

②企業風土の変革

重点施策②-1:「マインドセットの徹底」

「主体性・責任感・危機意識の醸成」、「トップメッセージの共有化」、「モニタリングとPDCAの徹底」を進め、グループ一丸となって主体的に行動を起こすしくみづくりを行います。具体的には、権限の委譲、人事制度の

改定、経営の可視化を進め、定期的なモニタリングによりPDCAを回し、目標達成の確度を高めます。

重点施策②-2:「経営基盤の強化」

「効率性の追求」を進め、グループ全体の間接部門業務の見直し、組織サイズの再定義と再設計、シナジーを期待できる個社、事業の統合を行い、連結の売上高販管費率の0.5%改善を目指します。

また、「人財育成」を進め、キャリアプランを念頭においた育成を行い、スペシャリストや外部人財を積極的に活用し、競争力向上と持続的発展を可能にする人財を育成します。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 2020年度までに連結売上高1兆円、
連結営業利益300億円を目指します。

「ACE-2020」の実行により、2020年度までに連結売上高1兆円、連結営業利益300億円、ROE6.0%以上を目指します。そのための成長投資として1,000億円を設定しました。営業活動によるキャッシュ・フローを上回る財源は有利子負債での調達を基本としますが、運転資金の効率化や資産の入れ替えにより、強固な財務体質と長期的な安定配当は堅持します。

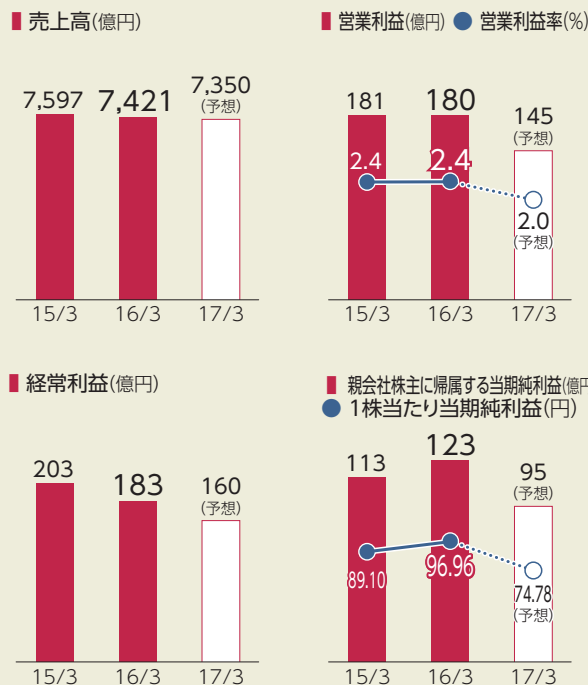
この基本方針のもと、当期の期末配当は1株当たり16円で、中間配当金を含めた年間配当金は1株当たり32円、次期も中間配当金16円、期末配当金16円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、当社グループの将来性にご期待いただき、今後とも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

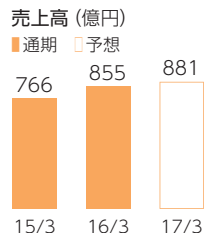
Checkpoint

- ✔ **売上高**：生活関連セグメントの売上は増加したものの、電子および機能素材セグメントが減少し、減収
- ✔ **経常利益**：持分法投資損益および為替差損益の悪化等により減益
- ✔ **親会社株主に帰属する当期純利益**：連結納税制度の適用に伴う税金費用の減少により増益

連結決算ハイライト



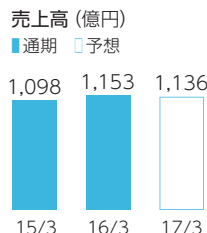
売上高 **855** 億円 営業利益 **38** 億円



○ 当期の概況

国内、海外ともに売上は増加。ライフ&ヘルスケア事業は食品素材分野、化粧品・トイレタリー分野等が好調で増収。ビューティケア製品事業は新商品の販売が伸長したものの、事業全体として売上は微減。

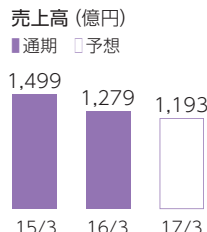
売上高 **1,153** 億円 営業利益 **13** 億円



○ 当期の概況

国内では自動車生産台数の減少の影響等を受けるも、特定の車種に関連した商材の売上が伸長し、売上は前年並み。海外では米州、中国および東南アジアでの販売が好調に推移したことにより、全体として増収。

売上高 **1,279** 億円 営業利益 **62** 億円



○ 当期の概況

欧米での売上は増加したものの、国内および北東アジアでの売上が減少し全体として減収。電子化学品事業はエポキシ樹脂関連好調により増収、電子資材事業はスマートフォン市場の低迷等により減収。

生活関連
セグメント



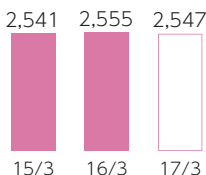
加工材料
セグメント



売上高・2,555億円 営業利益・49億円

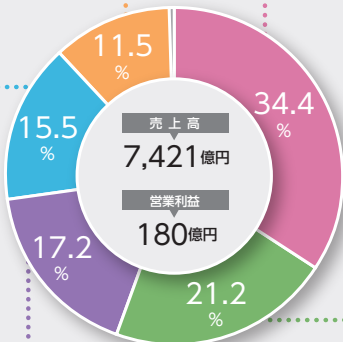
売上高(億円)

■通期 □予想



○ 当期の概況

国内での売上は減少したものの、北東アジアおよび東南アジアでの売上が増加し、売上は微増。カラー&プロセッシング事業の売上は減少、OA・ゲーム機器業界への合成樹脂の販売を中心とする事業の売上は微増。



自動車・エネルギー
セグメント



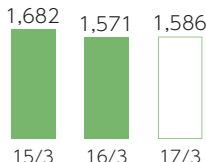
機能素材
セグメント



売上高・1,571億円 営業利益・36億円

売上高(億円)

■通期 □予想



○ 当期の概況

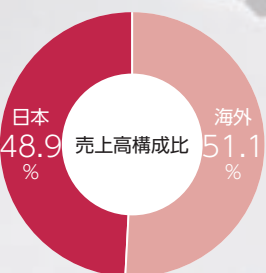
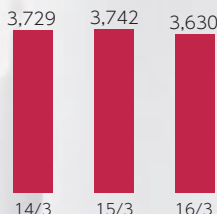
米州および中国等海外で売上は増加したものの、国内は減収となり全体として売上は減少。機能化学品事業の売上は減少。スペシャリティケミカル事業は、電子業界向けケミカル等が低調に推移し、全体として減収。

電子
セグメント

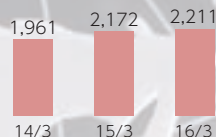


地域別売上高
(億円)

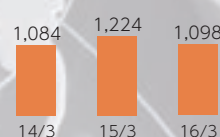
○ 日本



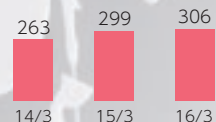
○ 北東アジア



○ 東南アジア



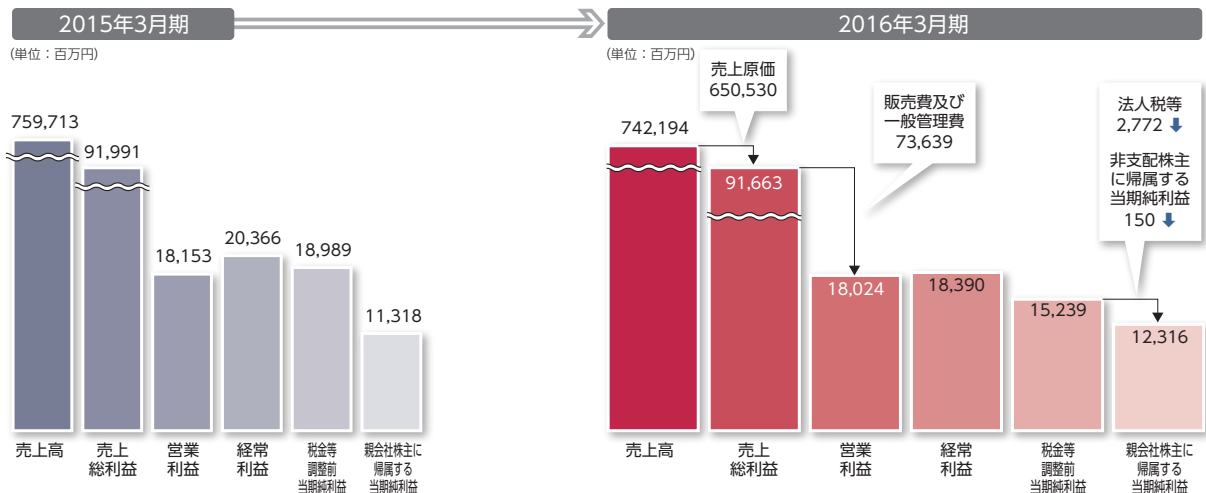
○ 北米



○ 欧州・他



目で見える連結財務諸表



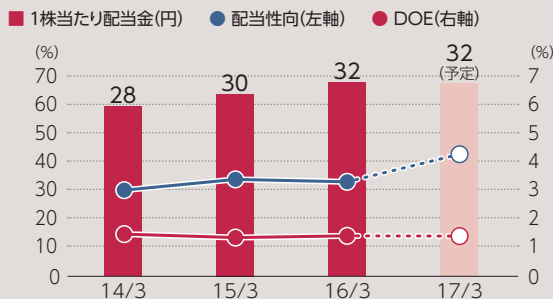
損益の状況

解説 当期の業績は、国内販売は3,630億3千万円（前年比△3.0%）、海外販売は3,791億5千万円（同△1.6%）となり、売上高は7,421億9千万円（同△2.3%）となりました。利益面につきましては、減収に伴い、売上総利益は916億6千万円（同△0.4%）、営業利益は180億2千万円（同△0.7%）となりました。経常利益は、持分法投資損益および為替差損益の悪化により183億9千万円（同△9.7%）となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、のれんおよび事

業用資産等に係る減損損失を計上したものの、平成29年3月期より連結納税制度を適用することに伴う税金費用の減少により123億1千万円（同+8.8%）となりました。

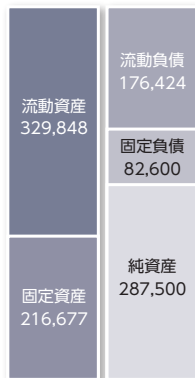
利益配分に関する基本方針

当社は、収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、連結業績連動を基礎とした、株主の皆様への安定配当を継続して行うことを基本方針としております。当期の期末配当金は前期に比べ1円の増配を実施し、1株当たり16円（年間ベースでは2円増配の32円）とさせて頂きました。また、次期の配当につきましても1株当たり年間配当金32円を予定しております。



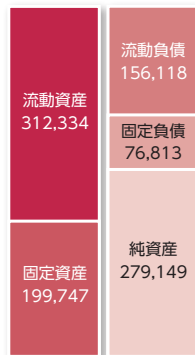
2015年3月期

(単位：百万円)



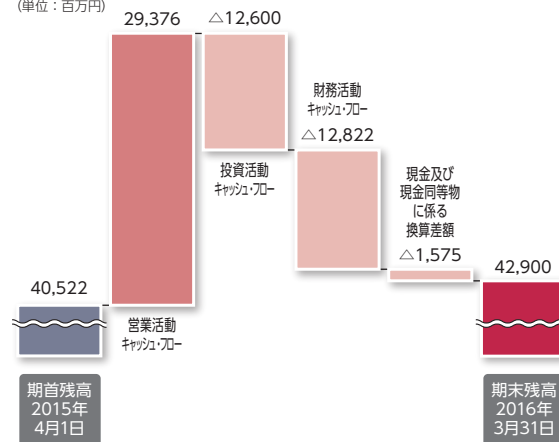
2016年3月期

(単位：百万円)



2016年3月期

(単位：百万円)



資産・負債・純資産の状況

解説 総資産は売掛金や棚卸資産、投資有価証券の減少等により、前期末に比べ344億4千万円減少の5,120億8千万円となりました。負債は買掛金や長期繰延税金負債の減少等により、前期末に比べ260億9千万円減少の2,329億3千万円となりました。純資産は親会社株主に帰属する当期純利益123億1千万円を計上したものの、その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定の減少等により、前期末に比べ83億5千万円減少の2,791億4千万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

解説 当期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動による資金の収入293億7千万円、投資活動による資金の支出126億円、財務活動による資金の支出128億2千万円に換算差額による資金の減少15億7千万円を加味した結果、前期末と比べ23億7千万円(+5.9%)増加し、429億円となりました。

ホームページのご案内



当社では多くのステークホルダーの方々に当社の事業内容や強みなどがご理解いただけるようホームページの充実を図っています。コミュニケーションツールのひとつとして、ぜひ、ご活用ください。

URL → <http://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

- ニュースリリース……適時開示情報や新製品情報等に関する情報をタイムリーに掲載しています。
- 企業情報……基本理念、トップメッセージのほか、組織図、役員等に関する情報を掲載しています。
- 事業内容……事業部門、研究開発部門ごとの役割と取り組み等に関する情報を掲載しています。
- IR(投資家情報)……決算説明会資料等のIR資料の随時公開のほか、動画会社案内なども掲載しています。
- CSR(環境・社会)……地球環境保全、社会貢献、コーポレート・ガバナンス等に関する取り組みを掲載しています。
- 採用情報……新卒採用、キャリア採用のほか、NAGASEグループの採用情報も掲載しています。

TOPICS 1 「NAGASEグローバルブランディング推進プロジェクト」を始動

今後の持続的な成長および企業価値向上に向けた取り組みのひとつとして、「NAGASEグローバルブランディング推進プロジェクト」を始動しました。

当社普遍の経営理念の一節にある「誠実に正道を歩む」を根底に、NAGASEグループに関わる全ての人に対して約束するものとして、

NAGASE ビジョン 社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、拡げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する

を制定し、NAGASE ビジョンを端的に表現したスローガンを策定しました。

NAGASE グループスローガン Bringing it all together

今後は、NAGASEグループの全社員が一体となって、NAGASE ビジョンに込められた意味を正しく理解し、同じ言葉でステークホルダーの皆様が発信し続けることで、一貫したブランドイメージを築いてまいります。



TOPICS 2 「ナガセタイランド ヤンゴン支店」設立の件

長瀬産業100%子会社のNagase (Thailand)Co., Ltd. (本社:Thailand、CEO:増田 隆行)は、ミャンマー ヤンゴン支店を開設し、2016年2月1日に業務を開始致しました。

【新支店の概要】

住 所: No.1503 (P#8) 15th F, Sakura Tower, 339 Bogyoke Aung San Road, Kyauktada Township, Yangon, Republic of the Union of Myanmar
事業概要: マーケティング



ミャンマーヤンゴン支店

TOPICS 3 「スクラム・ジャパン・プログラム」を応援

弊社は、公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会による、ラグビーを通じた人材育成等を目的とした「スクラム・ジャパン・プログラム」の活動を支援しております。当プログラムは、今後の日本を支えていく小中高世代に対しラグビーの普及活動を通じてラグビー精神である「勇気、信頼、責任、決断、連帯、誠実」を体感し身につけてもらうことを目的としています。



スクラム・ジャパン・プログラムロゴ

TOPICS 4 「ナガセ ホワイトプログラム ブライトローション」新発売

株式会社ナガセビューティケアは、2016年4月1日、メラニンの過剰な生成と取り込みによるシミなどの色素沈着メカニズムに着目し、うるおいで満たしながらクリアで透明感のある肌へと導く美白化粧水「ナガセ ホワイトプログラム ブライトローション」を新発売いたしました。NAGASEグループが量産化に成功した持続型ビタミンC誘導体「AA2G®」に加え、ベルガモットミントから抽出したナガセ独自の「ブルーミントエキス」のほか、「メラノサインプロッカー」などを配合し、うるおいで満たしたクリアで透明感のある肌を目指します。

商品に関するお問い合わせ フリーダイヤル ☎0120-65-3616 ナガセビューティケア <http://nbc.jp>

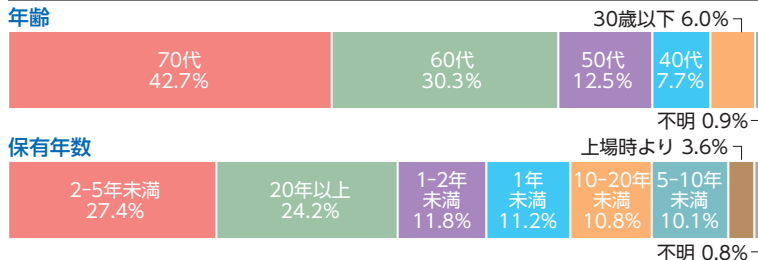


ナガセ ホワイトプログラム
ブライトローション

昨年末に中間株主通信と同封いたしましたアンケートにつきまして、数多くのご回答をいただき、厚く御礼申し上げます。

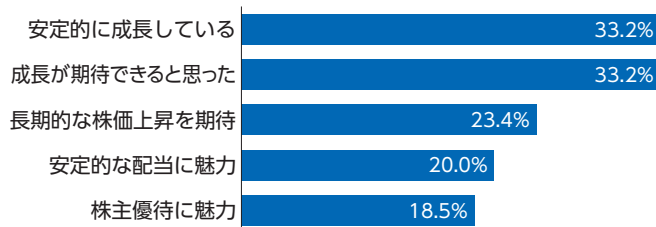
ご回答いただきましたアンケート結果につきまして、その一部をご紹介します。お寄せいただいたご意見につきましては、今後の事業活動およびIR活動の充実に活かしてまいります。

第101期中間株主通信アンケートご回答者様属性

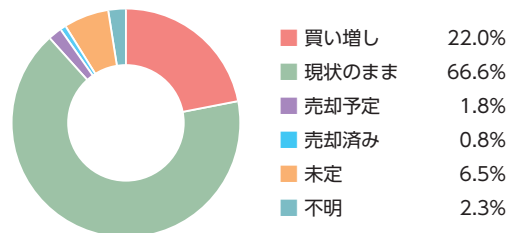


アンケート集計結果(一例)

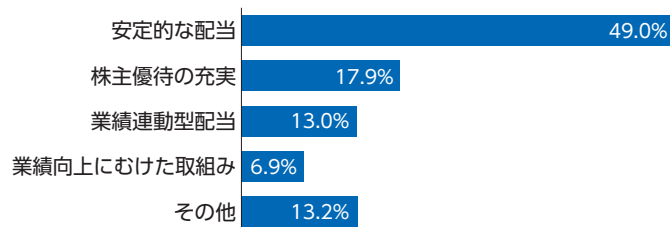
Q 株式を取得された理由 (複数回答可)



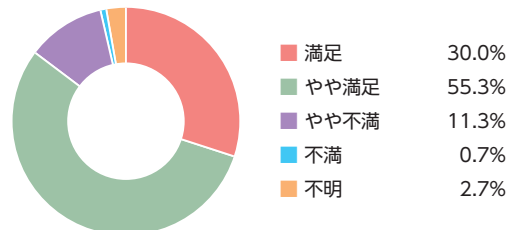
Q 株式保有についての方針



Q 株主施策として望ましいもの



Q 長瀬産業に対する総合的な評価



アンケートに寄せられた声(抜粋)



株主さま

- ・[社会的貢献の強化やグループ全体のPR等、知名度向上にも努力されたし]
- ・[製造分野に投資を]
- ・[株主優待の継続と、さらなる内容の充実を図ってほしい]
- ・[今後も海外事業を伸ばしてほしい]

会社概要

商号	長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
創業	1832年(天保3年)6月18日
設立	1917年(大正6年)12月9日
資本金	9,699百万円
従業員	971名(連結6,267名)
主要な事業所	大阪本社、東京本社、名古屋支店、 ナガセR&Dセンター(兵庫県神戸市)、 ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県 尼崎市)、堺営業所(大阪府堺市)

取締役・監査役 (2016年6月29日現在)

代表取締役会長	長瀬	洋
取締役副会長	長瀬	玲二
代表取締役社長	朝倉	研二
代表取締役	名波	瑞郎
取締役	森下	治
取締役	佐藤	幸平
取締役	若林	市郎
社外取締役	西	秀訓
社外取締役	家守	伸正
監査役	松木	健一
監査役	濱口	雅彦
社外監査役(常勤)	白藤	信之
社外監査役	高野	利雄

株式の状況

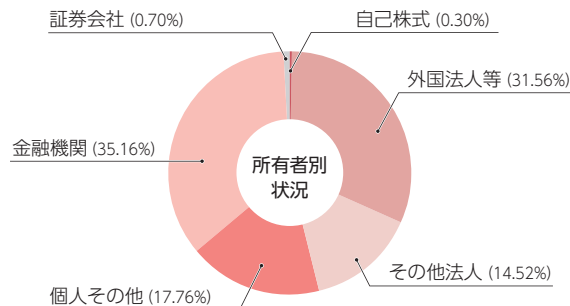
発行済株式の総数	127,408,285株
株主数	7,338名

大株主の状況

株主名	当社への 出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	6,780	5.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,208	4.87
三井住友信託銀行株式会社	5,776	4.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,941	3.88
株式会社三井住友銀行	4,377	3.44
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,018	3.15
日本生命保険相互会社	3,589	2.82
長瀬 令子	3,565	2.80
三井住友海上火災保険株式会社	2,951	2.32
長瀬 洋	2,946	2.31

(注)長瀬洋の所有株式数には、長瀬産業役員持株会名義の株式数が含まれております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031

ホームページ URL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL	http://www.nagase.co.jp/
単元株式数	100株
株主に対する特典	毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元株以上保有の株主を対象に、自社もしくはグループ会社の商品を贈呈。

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
---------	---------------

○ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

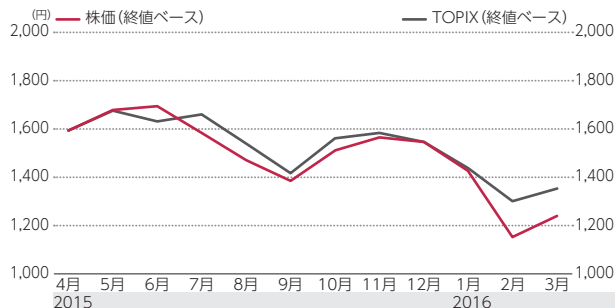
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

○ 特別口座について

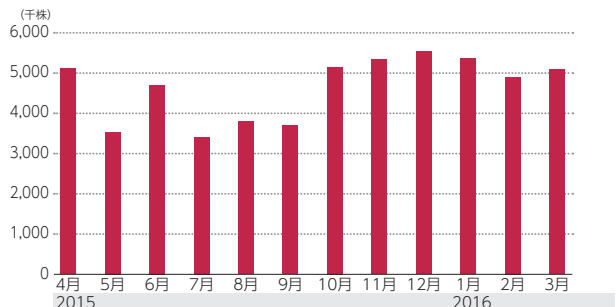
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株価／出来高の推移 (2015年4月1日～2016年3月31日)

株価の推移



株式売買高の推移



基本理念



NAGASE経営理念
社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める。

NAGASEビジョン
社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、広げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する。

- NAGASEウェイ**
- 常に顧客指向であれ
 - 常に独創的な挑戦者であれ
 - 常にグループ力の活用を考えよ
 - 常にグローバルに考えローカルに行動せよ
 - 常にシステムティックに考えスピーディーに行動せよ

2007 創業175周年を迎えて

6月18日に創業175周年を迎えた。社員、株主、取引先、国内外に100社を数えるグループ各社などに対して謝意を表し、祝意を共有していただくことを願って各種の記念事業を計画・実行した。

また創業日である6月18日には、同日付の日本経済新聞朝刊に全面広告を掲載した。「誠実に正道を歩む」。謝意広告に謳ったメインコピーは、創業から今日まで、時代を超えて変わらぬ長瀬産業の経営理念であった。

江戸から明治、大正、昭和、平成という時代の変遷のなか当社は、化学を基盤とする商社として世界の技術動向、マーケットを見据えながら、取引において信義を重んじ、誠実を旨とする堅実な経営を続けてきた。この姿勢を堅持しながら当社の全役員、社員は、未来に向けて次の歩を踏み出そうとしている。広告の言葉は、そうした思いを凝縮したものであった。創業175周年の謝意広告は、日本経済新聞のほか、週刊東洋経済、週刊ダイヤモンド、THE 21、日経ビジネス、WEDGE、文藝春秋、化学工業日報の各紙誌上にも掲載され、東海道新幹線の新型車両「N700系」の車内文字広告でも流された。

2011 バイオ関連事業の強化

会社更生手続き中であった岡山のバイオ関連企業、林原のスポンサーに決まり、総額700億円の拠出により、100%子会社化した。

1883年に水飴製造からスタートした林原は、「トレハロース」に代表される食品素材や美白化粧品に使用される安定型ビタミンC(AA2G)等の製造・販売を行う。他社がやらない、他社にはできない独自のテーマで研究を行い、高度なバイオ技術を持つ世界的な研究開発型企業として成長してきた。

今後は当社と林原でシナジー創出を目指す取り組みを本格化し、グループの研究開発機能や販売機能を融合させ事業拡大を図っていく。

2012 中期経営計画「Changeers2014始動」

2012年4月に3カ年中期経営計画「Changeers2014」を新たに策定し、基本戦略に「事業と運営の質の向上を加速して(Speed up)、重点分野のバリューチェーンにおいてナガセグループの総合力を発揮し(Step up)、独自のソリューションをグローバルに展開することにより、持続的に成長する(Sustainable growth)」を掲げた。

事業セグメントを、バリューチェーンでの位置付けと、主たる担当業界によって「機能素材」「加工材料」「電子」「自動車・エネルギー」「生活関連」の5つに再編成し、「バイオ」「環境・エネルギー」「エレクトロニクス」関連の重点分野を中心に、当社グループの特徴を生かした事業の強化、創出を目指した。



株式会社林原(機能糖質工場)



「長瀬産業株式会社の歩み」のバックナンバーについては過去の株主通信(下記URLご参照)でご覧いただけます。

URL→ <http://www.nagase.co.jp/ir/library/nagase-report/>